



＜前号からの続き＞

＜家庭での取組＞

◇だんだん挨拶に恥じらいが出てきたので、あえてしようと声掛けをせずに、お買い物を任せたり、先に挨拶をするようにしています。

◇外で友達とけんかして帰ってきたときは、仲直りしてこいと追い出します。5分もすれば、また仲よく遊んでいます。

◇娘に自分のお財布を管理させることで、これを買うには何か月必要とか、いくら必要とか、また残高記入をさせています。時計を見て動くということもさせています。

◇（家庭で実践していること）挨拶をする。ゴミがあれば拾う。分からないことがあれば何でも聞く。  
◇学校で挑む力を発揮するには家庭環境（規則正しい生活、朝ご飯、声かけなど）が大切だろうと思います。我が子の挑む力にはなっているのかな？  
.....  
.....



新1年生は、入学式前に教室で担任の先生から式の注意などを聞きます。かしこかったですよ。

読んでいると、共感することばかりです。わたしは、「**ともに生き、自分を生かす力を育てる**」(学校教育目標) のが学校の役割だと思っています。それは、みなさんのご意見の中に出てくる、自分で学習する力、人とつながる力、自分を律する力であり、自分のよさを伸ばすことであると思います。それらは、家庭と地域と学校が手をつなぎ合うことが大切であることについても同感です。

学校として、次の6項目を本年度の努力事項とします。

- 1 一人一人の個性を大切に、互いのめあてと努力を共有し合って**ともに挑む学級**をつくる。
- 2 これまでの学びと自分と仲間を活かし、互いの疑問を解決し合う**高め合う授業**をつくる。
- 3 規律を守る力、自ら学ぶ力、めあてを実現する力を育てながら**たくましい自立**をつくる。
- 4 安全を守り、学習・生活の意欲向上のための**気持ちのよい環境**をつくる。
- 5 保護者、地域との連携を深め、感謝の気持ちを伝えることを大切に、**開かれた学校**をつくる。
- 6 職員一人一人の児童理解、研究実践、提案意図などを共有し、**連動する組織**をつくる。

そして、めざす児童像は、「**ともに挑む子**」です。自分のめあて、みんなのめあての達成に向けて力を合わせて努力し続ける子です。きっと、その過程で、「**みんなの中で自分を生かす力**」が育ち、「**人間は一人では生きていけないことのすばらしさ**」を感じてくれると思います。

離任者・着任者の紹介は次号でします。



近年では珍しく、入学式の日には桜満開。翌日は雨と風。日本には美しい言葉があります。花冷え、花嵐、花吹雪…。